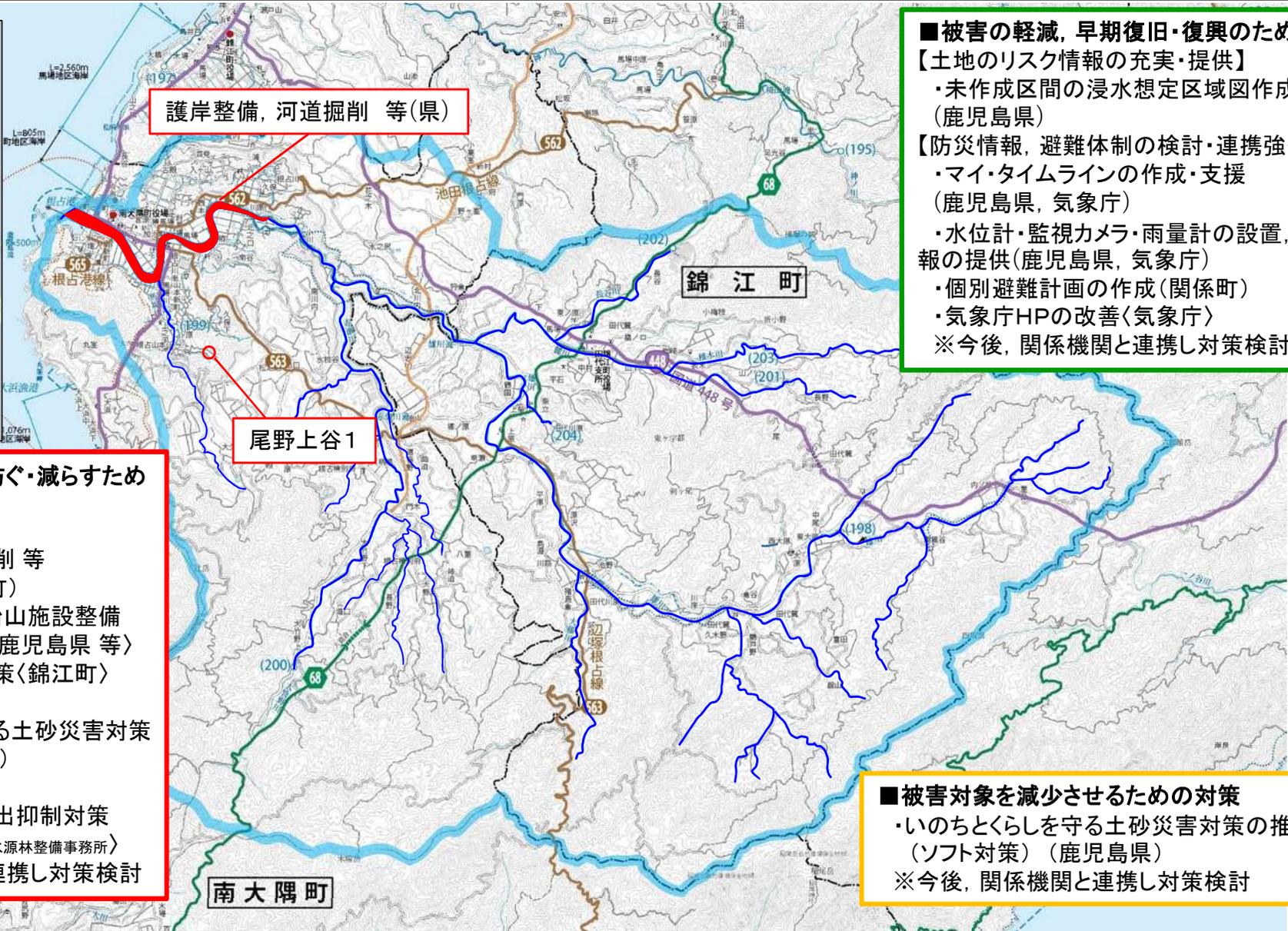


雄川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が発生していることを踏まえ、雄川水系においても、流域内のあらゆる関係者が協働して流域全体で対応する必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 【洪水氾濫対策】
- ・護岸整備, 河道掘削 等 (鹿児島県, 錦江町)
- ・森林整備・保全, 治山施設整備 (鹿児島県 等)
- ・氾濫を防ぐ治水対策(錦江町)
- 【土砂災害対策】
- ・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進(ハード対策) (鹿児島県)
- ・森林整備による流出抑制対策 (森林研究・整備機構 鹿児島水源林整備事務所)
- ※今後, 関係機関と連携し対策検討

- 被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策
- 【土地のリスク情報の充実・提供】
- ・未作成区間の浸水想定区域図作成 (鹿児島県)
- 【防災情報, 避難体制の検討・連携強化】
- ・マイ・タイムラインの作成・支援 (鹿児島県, 気象庁)
- ・水位計・監視カメラ・雨量計の設置, 防災情報の提供(鹿児島県, 気象庁)
- ・個別避難計画の作成(関係町)
- ・気象庁HPの改善(気象庁)
- ※今後, 関係機関と連携し対策検討

- 被害対象を減少させるための対策
- ・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進 (ソフト対策) (鹿児島県)
- ※今後, 関係機関と連携し対策検討

※具体的な対策内容については, 今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

雄川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○雄川水系では、流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 】 対策内容・事業主体・工程は、以下のとおり

【 被害対策を減少させるための対策 】 対策内容・事業主体・工程は、以下のとおり

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 対策内容・事業主体・工程は、以下のとおり

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策(河道掘削等)	鹿児島県, 錦江町	河道掘削, 樹木伐採 等		
	土砂災害対策(ハード対策)	鹿児島県	砂防事業, 急傾斜地崩壊対策事業 等		
	森林の整備・保全, 治山施設の整備	鹿児島県, 関係町, 森林組合 等	森林整備による流出抑制対策 等		
			治山施設整備による土砂流出抑制対策 等		
流域の雨水貯留機能の向上	森林研究・整備機構 鹿児島水源林整備事務所	森林整備による流出抑制対策 等			
被害対策を減少させるための対策	土砂災害対策(ソフト対策)	鹿児島県	土砂災害警戒区域の指定 等		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県, 気象庁, 関係町	水位計・監視カメラ・雨量計の設置, 防災情報の提供 等		
		気象庁	気象庁HPの改善 等		
	土地のリスク情報の充実	鹿児島県	洪水浸水想定区域図の作成・公表 等		
	地域の防災力向上	鹿児島県	防災研修, 出前講座, 防災研修センター 等		
	防災学習の推進	気象庁, 関係町	出前講座, 防災学習 等		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進